

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

2016年11月28日発行NO. 573

子ども達の豊かな成長・発達の力を合わせるようにしましょう！

「学び」と「元気」をえた 2016 POWER UP 講座

毎年好評のパワーアップ講座。今年度も全10回が終わりました。

大阪の小学校で実践を積んできた先生から、知的好奇心をくすぐる「おもしろい授業」「目からウロコの授業」など、毎回10〜30人の参加者の皆さんと学びました。

今年度最終となった11月12日は国語の講座。低学年の教科書にたくさん掲載されている文学作品「かさこじぞう」を三野和生先生を講師に学び合いました。

『かさこじぞう』感想紹介

○初めて授業する『かさこじぞう』ということもあり、「何を伝えよう？」などのように教えよう？と思っていたが、今回お話を聞かせて頂き方向性が決まりました。とても参考になりました。

○久しぶりに文学を深く読んだ（触れた）気がします。文学作品の取り組み、私なりにがんばりたいと思います。

○国語・道徳・人権・総合：と自分の中でまだ混ぜてしまっている部分があるなど感じました。話を聞くことで“国語”として同授業を展開させていくのか考えることが



できました。言葉にこだわる人間とは：：という部分をもっと学んでいきたいと思っています。

2/18 19 箕面で青年フェスタ

豊中での教育講座は今年度は終了です。2月、大阪府下の青年

教職員が600名規模で集う青年フェスタがあります。箕面観光ホテル（大江戸温泉物語）
実技講座・教育講座、記念講演（元SEALs 奥田愛基）



- 今年のPOWER UP講座**
- 4/23 体育 安武一雄さん
「低学年体育をどうするか!？」
 - 5/7 支援 宮本郷子さん
「子どもの発達と支援教育」
 - 5/21 9/3 算数 何森真人さん
「わかる算数たのしい授業」
 - 6/4 11/12 国語 三野和生さん
「文学の授業 注文の多い料理店・かさこじぞう」
 - 6/25 作文 土佐いく子さん
「子どもたちに表現の喜びと生きる希望を」
 - 7/2 図工 服部宏さん
「水彩絵の具の基本と表現の可能性」
 - 10/15 絵本 桜田恵美子さん
「絵本ですてきな学級づくり・授業づくり」
 - 10/29 平和教育 平井美津子さん
「みんなでできる平和教育」

11/19 全国で 豊中で 平和を求める行動!

11月19日、全国で戦法の廃止を求める行動が行われました。

豊中でも桜塚にある桜塚公園(ぞう公園)に、「戦争法発動反対・南スーダンへ自衛隊を送るな」「沖縄米軍基地新設増強ストップ」とさまざまな団体・市民が集まりました。(主催:市民アクション実行委員会)

あいにくの天気の中でしたが、一〇〇名が集まり、南スーダンの状況や沖縄・高江で起こっている



平和憲法を守ろう!

20日、危険な南スーダンに自衛隊員を送る家族の心境は複雑と毎日新聞は報道しています。涙を流し別れる場面を写真に撮っています。

ることの報告がありました。木村真市議からは、庄内・野田に開校予定の瑞穂の国記念小學院の建設に関わる不透明性等について報告がされました。集会後、豊中駅までパレードをおこないました。豊中では引き続き「9の日」宣伝を行い、平和を市民にアピールします。

青森 南スーダン派遣の壮行会 涙の見送り

19日、青森では南スーダンに派遣される自衛隊壮行式が行われました。安保法「戦争法」に基づく新任務「駆け付け警護」

「宿营地共同防護」が付与され武器の使用が可能になります。

稲田朋美防衛相は「自衛隊の国際平和協力の歴史の中で新たな一歩」と協調しましたが、南スーダンは日本政府の認識とは違い、とても危険な状況であることを国連関係者や現地を良く知っているジャーナリストも語っています。



「21世紀にふさわしい教育を 部落問題学習」を考えるQ&A

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

Q7 歴史学習についてどう考えたらいいですか。

A7 近世社会が身分をもとにした社会であったことを具体的にわかることが基本です。賤民身分だけとりたてて教えることは歴史像を歪めます。

小学校では、70時間の歴史学習で賤民身分についてふれる必要はありません。

中学校の歴史教育は、はじめて日本の歴史を世界の歴史と関連させながら学びます。

人類の誕生から現代までを通して社会の変化・発展を学ぶ機会でもありません。ですから、階級とか身分ということを前近代の学習でつかみとらせることが大切です。

幕府権力が北海道から沖縄までを支配するようになったことも欠いてはならないことです。

織豊政権から幕藩体制のもとで、武士と百姓、町人、賤民というように身分ごとにわけて支配されたこと、そのおのおのがどんなくらしをしていたのか、身分と職業・居住地は一体のものとして固定されたこと、それに対するたたかいが日常の生産活動を含めて展開された事実を知ることが中学で学習するなかみだと考えます。

このことを地域の資料をもとにして具体的に学びとらせるのが、中学の歴史教育です。賤民身分だけをとりたてて教えることは歴史像を歪めます。

